

# 5 精密検査依頼書兼結果報告書【子宮頸がん検診】 説明書

※当報告書が区市町村に返送された際になどに御利用ください。

※「地域保健・健康増進事業報告」:「健増報告」と表記します。  
 ※「子宮頸がん検診精密検査結果報告書(東京都統一様式)」と「令和4年度地域保健・健康増進 事業報告集計表」との対照表:「対照表」と表記します。

① ○○○○○○控

**子宮頸がん検診 精密検査依頼書 兼 結果報告書**

子宮頸がん精密検査依頼書

医療機関長 御担当医様

年月日

◆区市町村名を記入してください。

返送先 〒 住所: ★返送先2が以上の場合、追記可です。 TEL:

下記の方へ区市町村子宮頸がん検診の結果、要精密検査となりましたので、御郵送の上、宜しく御指導をお願い申し上げます。

氏名	検診日	年月日
生年月日	検診機関名	
項目名変更	子宮頸部	ASC-US
	細胞診	ASC-H・LSIL・HSIL・AGC・AIS
	(結果に○)	SCC・Adeno Ca.・Other

◆記入内容にあわせて項目名を変更してください。

★住所・住民番号等の記入欄として使用できます。

精密検査結果(貴院記入用) 精密検査結果について御記入の上、御返送くださいますようお願いいたします。

※精密検査結果の区市町村及び区市町村から委託を受けた検診機関への提供は、個人情報保護法の例外事項として認められています。  
(「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのための個人情報保護法第27条第1項第3号に該当すると認められています。')

◆各自治体名に変更可です。

※御記入いただいた内容は「区市町村が「地域保健・健康増進事業報告」(厚生労働省)に計上し、国及び都の地域保健施策のための基礎資料となります。(本書による御報告の後、追加調査に御協力いただく場合があります。)

精密検査	<input type="checkbox"/> HPV検査 → 結果(陽性・陰性) <input type="checkbox"/> 細胞診 → 結果( ) <input type="checkbox"/> コルポスコピー <input type="checkbox"/> 組織診 <input type="checkbox"/> 上記以外(検査法: )	(一次検診結果がASC-USの場合) HPV検査または細胞診のみでも精検受診として扱います。 (一次検診結果がASC-US以外の場合) コルポスコピー、組織診の実施で精検受診として扱います。
診断区分	① <input type="checkbox"/> 異常なし・子宮頸部以外の疾患(卵巣がん、子宮体部に限局する子宮体がん等) ② <input type="checkbox"/> 子宮頸がん ( <input type="checkbox"/> 扁平上皮癌 <input type="checkbox"/> 腺癌 <input type="checkbox"/> その他 ) ③ ( <input type="checkbox"/> IA期 <input type="checkbox"/> IB期以上 ) ④ <input type="checkbox"/> 上皮内病変 ※腺異形成は除く ( <input type="checkbox"/> AIS、 <input type="checkbox"/> CIN3、 <input type="checkbox"/> CIN2、 <input type="checkbox"/> CIN1 ) ⑤ <input type="checkbox"/> 子宮頸がんの疑いのある者又は未確定 <small>(一次検診がASC-USで、精密検査としてHPV検査または細胞診のみ実施(コルポスコピー未実施)の場合をさし、(同一検診がASC-USで、HPV検査のみ実施して陰性の場合や、細胞診(1回目)のみ実施してNILMの場合も「未確定」です。)</small> ⑥ <input type="checkbox"/> 子宮頸がん、AIS、CIN以外の子宮頸部の疾患 <small>(転移性の子宮頸がん、子宮体がんの直接浸潤、腺異形成、尖圭コンジローマ等)</small>	
精密検査時の偶発症	※入院治療を要するものとする(例:組織診中の多量出血、検査後の膣壁内感染症等)。 該当する場合のみチェックしてください。	
精密検査実施日	精密検査実施医療機関名	精密検査担当医師名
年月日	TEL	

○健増報告項目:「細胞診の判定別人数」 以下のとおり、計上してください。

⑦⇒要精検(ASC-US) ASC-UC(意義不明な異型扁平上皮細胞)  
 ⑧⇒要精検(1) ASC-H(高度扁平上皮内病変を除外できない異型扁平上皮細胞)、LSIL(軽度扁平上皮内病変)、HSIL(高度扁平上皮内病変)、AGC(異型腺細胞)、AIS(上皮内腺癌)  
 ⑨⇒要精検(2) SCC(扁平上皮癌)、Adenocarcinoma(腺癌)、Other malignant neoplasms(その他の悪性腫瘍)

◆子宮頸がん検診における精密検査方法  
 検診結果に基づいてコルポスコプ下の組織診や細胞診、HPV検査などを組み合わせたものを実施するとされています。  
 (「子宮頸がん検診のためのチェックリスト(検診実施機関用) 1.受診者への説明より)

◆子宮頸がん検診における精密検査受診の定義  
 左記をまとめると以下のように整理できます。

[ASC-US(⑦)の場合の精密検査方法]  
 HPV検査、細胞診、コルポスコピー、組織診  
 (いずれか1つでも☑があれば精検受診)

[ASC-US以外(⑧⑨)の場合の精密検査方法]  
 コルポスコピー、組織診  
 (どちらか1つでも☑があれば精検受診)  
 ※コルポスコピー及び組織診の両方に☑がない場合は、「精密検査未受診」として取り扱うことになります。

◆子宮頸がん検診における不適切な精密検査方法  
 健増報告作成要領(令和4年度分)には、精密検査として不適切な方法は、「ASC-USを除く要精検(1)及び要精検(2)に対する細胞診のみの再検など」とされています。

○健増報告項目:「異常なし」(対照表項目①)  
 健増事業報告での「異常なし」には、子宮頸部に異常が認められなかった場合に加えて「子宮頸部には病変がない悪性腫瘍(例:卵巣がん、子宮体部に限局する子宮体癌)」も含まれます。

○健増報告項目:「CIN3であった者」「CIN2であった者」「CIN3又はCIN2のいずれかで区別できない者」(対照表項目⑤⑥及び※2)  
 CIN3とCIN2の両方が報告された場合は、精検実施機関等に病理診断結果を問い合わせてどちらに分類されるか確認してください。問合せの結果、CIN3かCIN2かの分類が不明と確認できた場合のみ、「CIN3又はCIN2のいずれかで区別できない者(対照表の※2)」に計上します。

○健増報告項目:「子宮頸がんの疑いのある者又は未確定」(対照表項目⑧)  
 健増事業報告での「子宮頸がんの疑いのある者又は未確定」には、子宮頸がんの疑いのある者、精検受診者のうち精密検査が継続中で検査結果が確定していない者(例:⑦(ASC-US)の者に細胞診の再検やHPV検査のみを実施※、組織診にて子宮頸がん及びCIN、AISの異常を認めないが細胞診にて異常が検出された者を計上します。※実施した結果が異常がなしの場合も含む)

○健増報告項目:「子宮頸がん、AIS及びCIN以外の疾患であった者(転移性の子宮頸がんを含む)」(対照表項目⑨)  
 子宮頸がん、AIS、CIN以外の子宮頸部の疾患として、子宮体癌の直接浸潤、腺異形成、尖圭コンジローマ等が該当します。